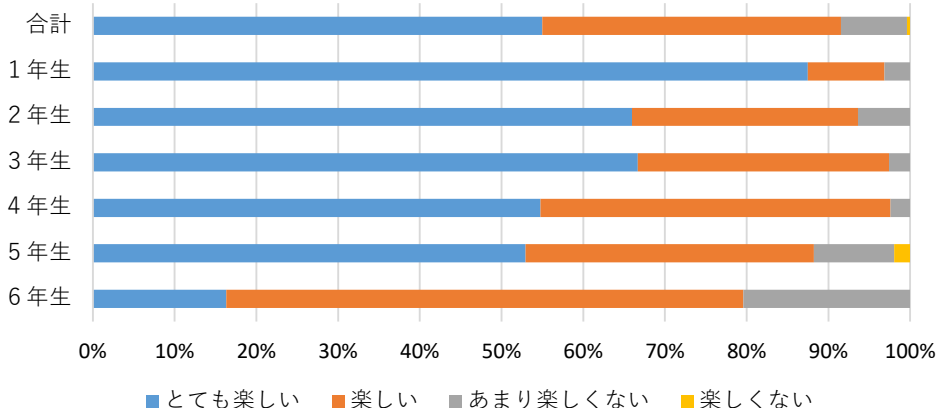


外国語科に関する調査結果（R5年度）

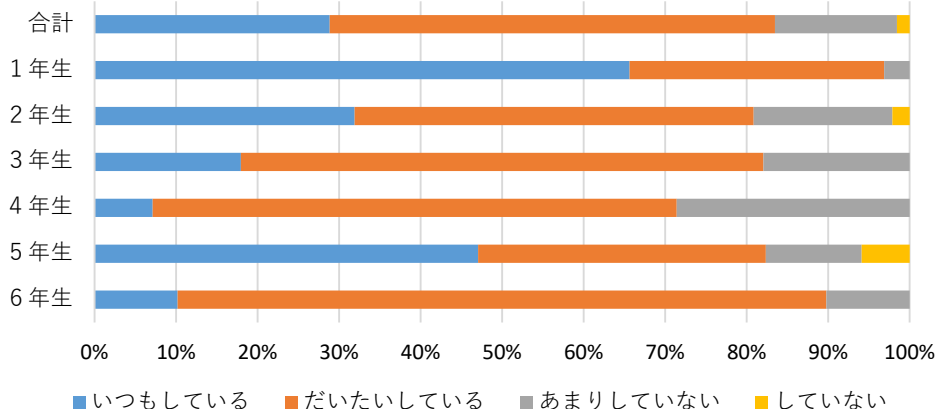
天草市立 五和小学校

①外国語の授業は、楽しいですか。



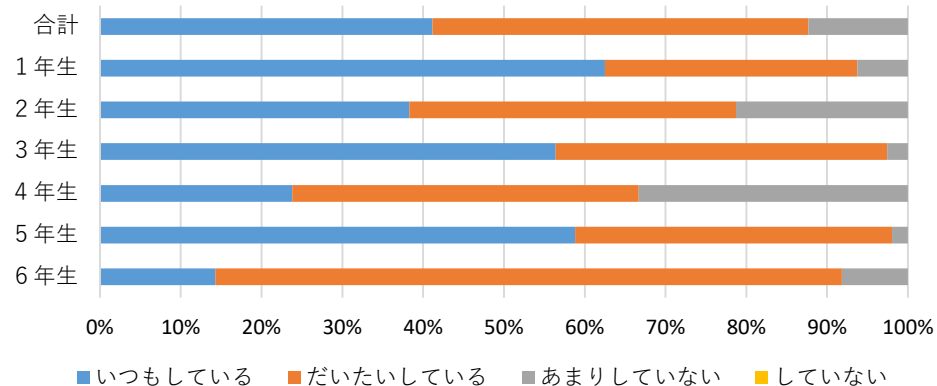
90%以上の児童が外国語科の授業は「楽しい」「とても楽しい」と答え、多くの児童が前向きに学習に取り組むことができている。一方で、「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた児童が、全体で8%ほどいる。

②相手に伝わりやすいようにはっきりした大きな声で話すことを心がけていますか。（クリアボイス）



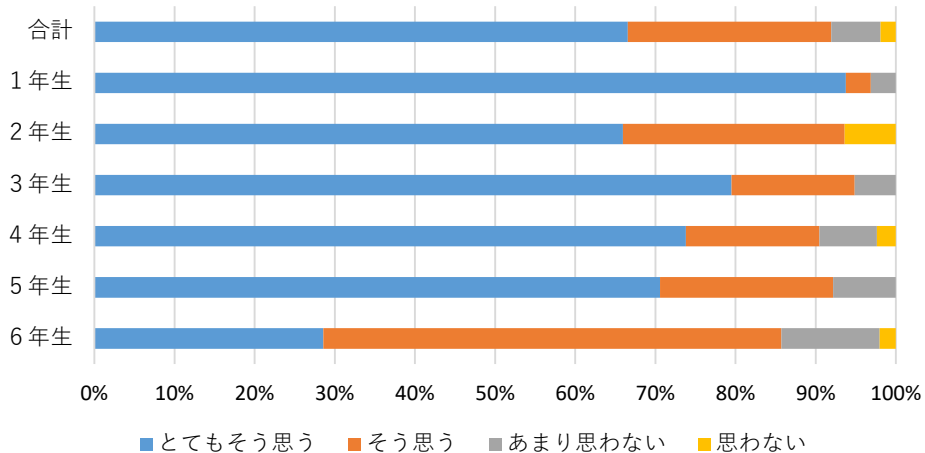
「いつもしている」「だいたいしている」と回答した児童は、全体の約83%である。昨年度と同様、多くの児童がクリアボイスを意識して、学習に取り組んでいる。また、「していない」と答えた児童は、昨年度と比較し、減少している。

③相手の目を見ながら会話することを心がけていますか。（アイコンタクト）



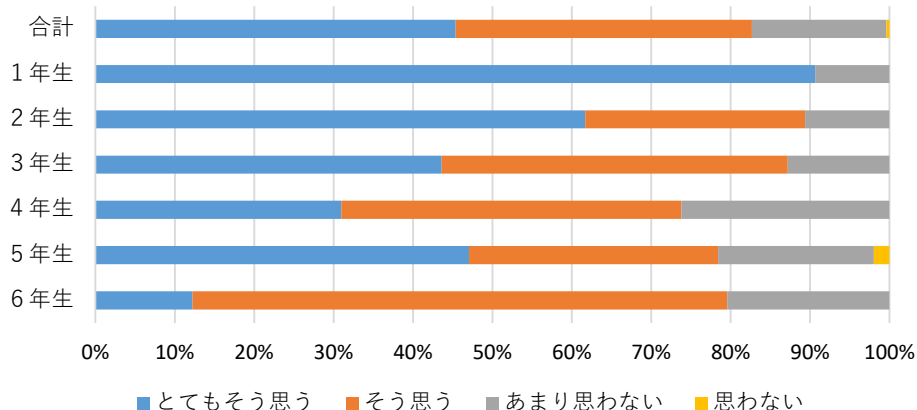
アイコンタクトを心がけている児童は、学校全体の87%以上を占め、昨年度と比較すると、2%上昇している。また、「していない」と答えた児童はいなかった。

④もっと英語が話せるようになりたいですか。



もっと英語が話せるようになりたいと答えた児童は、全体の92%おり、昨年度より増加している。また、「あまり思わない」「思わない」と答えた児童が8%と、昨年より2%減少している。多くの児童が外国語の学習に意欲的に取り組むことができている。

⑤外国語の授業は好きですか。



学校全体で見ると、約80%以上の児童が外国語科の授業は「とても好き」「好き」と答えている。一方、2割の児童が「あまり思わない」「思わない」と答えている。楽しく分かりやすい授業を目指して、授業改善に取り組む必要がある。

【保護者・学校運営協議会委員より】

- ・社会情勢や子どもたちに求められる力が変化していく中で、コミュニケーション能力や英語力は、これからの時代を生きていく子どもたちにとって必要不可欠なものである。小学校段階で、外国語学習の基礎をしっかりと身に付けられるように、今後も児童にとって、楽しくわかりやすい授業が行われることを期待する。
- ・小中連携においても、小中ともにお忙しい中での連携になると思うが、中1ギャップの解消や教職員間のさらなる児童理解に向けて、今後も継続して取り組んでほしい。